

## ADIC-NZ1

## ADVANCED FUEL INJECTION CONTROL

この度は弊社製品＜ADIC＞をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はフューエルインジェクターの噴射時期を変更させ、エンジントルク、レスポンスを向上させるコントローラーです。本製品を安全にご使用いただく為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

**お願い！** 本製品は性能向上、適合追加の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。

お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合、ご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に  
取り付け、調整をおこなって下さい。

**警告** 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となってしまいます。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。

**注意** 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさけて下さい。また製品を落としたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

**注意！** \* 本体の分解、改造は大変危険です絶対にしないで下さい。そのような状態がある場合は一切のクレームは  
ききません。ご了承下さい。

\* 下記メーカーのフルコン及びサブコンには取り付け実績がありません。取り付けは避けて下さい。

・HKS社FコンVプロ ・モーテック ・フリーダム他

**【取り付け方法】 適合表を参考に車両の詳細を確認してから作業をおこなって下さい。**

配線図とECU端子図を参考にADICをECUへ配線して下さい。

◎適合表備考欄の＜A＞＜S＞により接続する配線が異なります。\* 下記参照

＜A＞ → 青色線をエアフロー信号線へ接続、桃色線は使用しません。テーピングして下さい。

＜S＞ → 桃色線を車速信号線へ接続、青色線は使用しません。テーピングして下さい。

◎配線終了後に設定をして、エンジンを始動させ『カラ吹き』にてエンジンが正常に吹けあがるのを確認して下さい。

◎ハーネス類を運転の障害にならぬようにまとめて本体を固定して下さい。

**【モードについて】 \* ノーマル状態からADICに切り替わると本体横の緑色LEDが点灯します。**

このタイプのADICはMODE切り替えはありません！ 下記の特性になります。

接続 ＜A＞車 → 低負荷域ノーマル、中高負荷域ADIC

接続 ＜S＞車 → 車速 約10km/h以下ノーマル、以上ADIC

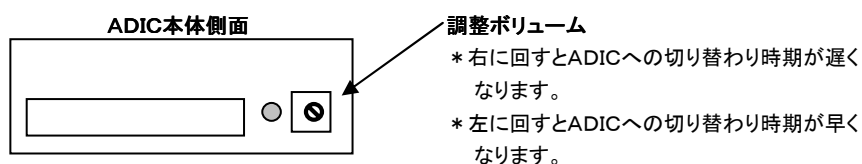
**注意！** \* ADIC切り替え時に多少のショック、リレー音があることがあります。ご了承下さい。

\* リレー音が気になる時は本体をカーペット下等へ隠して固定して下さい。

**【調整方法】 \* 基本的に調整は必要ありませんが、下記の症状時のみ調整をおこなって下さい。**

◎接続 ＜A＞車にてADIC切り替わり時にショックがかなり大きい場合は下記の調整をおこなって下さい。

注意！ 接続 ＜S＞車では調整ボリュームは動きません。

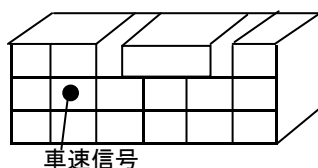


\* 本体横のボリュームを少しずつ回して切り替わり時のショックが出にくい場所を探して下さい。

**【スパルー部車にて！】**

注意！ スパルー車の配線図＜F4＞車にて調子の良くない時は＜F4A＞の接続に変更して下さい。

**<資料 BP, BLLレガシー車速取り出し方法>**



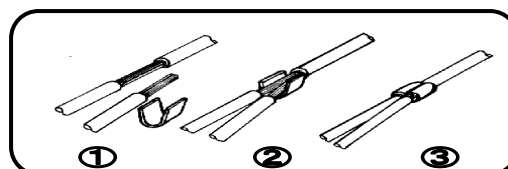
①ハンドル下のカバーをはずし左記のコネクターを確認して下さい。

②コネクターの●印の線(緑/黒)へ桃色線をスプライスにより接続して下さい。

\* 桃色線をチューブより抜いて作業して下さい。

**<スプライスの使用方法>**

- ① ECUの配線の適当な場所の被服を剥きます。(約5mm)
- ② 配線の先を10mm程度被服を剥き、ECUへ巻きつけます。
- ③ 圧着ペンチにて接合部をかします。
- ④ ビニールテープにて接合部を絶縁します。

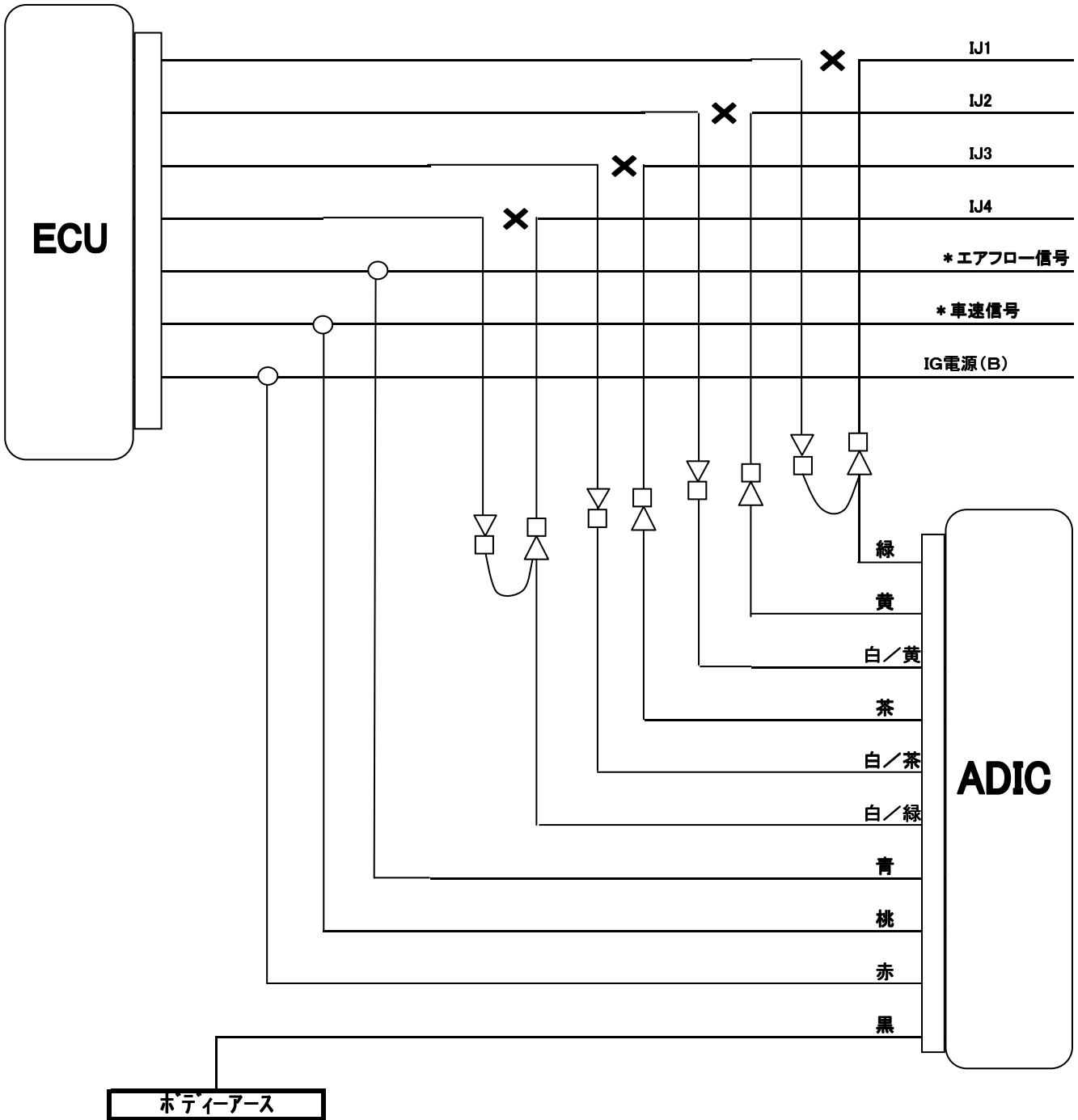


## 配線図(S4・F4) \* F4A除く

別冊の車両端子図を参考にADICより出ている9～10本の線をECUへ配線して下さい。

**注意！** 燃料噴射に関わる部分です。接続位置、接触には最善の注意をはらって作業をおこなって下さい。

◁ →オスキボシ      □ →メスキボシ      ○ →スプライス      ✕ →カット



- ① 車両ECUのIG電源線(B)へADICの赤色線をスプライスにより接続します。
- ② ADICの黒色線をボディーアースして下さい。
- ③ 車両ECUのIJ1の線をカットしてECU側へADICの緑色線をオス・メスキボシにより接続します。
- ④ 車両ECUのIJ2の線をカットしてECU側へADICの白／黄色線をオス・メスキボシにより接続します。
- ⑤ 車両ECUのIJ3の線をカットしてECU側へADICの白／茶色線をオス・メスキボシにより接続します。
- ⑥ 車両ECUのIJ4の線をカットしてECU側へADICの白／緑色線をオス・メスキボシにより接続します。
- ⑦ 車両ECUのエアフロー信号線へADICの青線をスプライスにて接続します。  
\* 適合の<A>車のみ、<S>車は接続しません。(使用しない線はテーピングして下さい)
- ⑧ 車両ECUの車速信号線へADICの桃線をスプライスにて接続します。  
\* 適合の<S>車のみ、<A>車は接続しません。(使用しない線はテーピングして下さい)
- ⑨ 運転の操作の妨げにならぬよう、配線をまとめて下さい。(車両カーペット下等)  
ADICの配線には約2A～程度の電流が流れます。配線の接触不良があるとエンジン不調をおこします。

## 配線図(F4A)

別冊の車両端子図を参考にADICより出ている9～10本の線をECUへ配線して下さい。

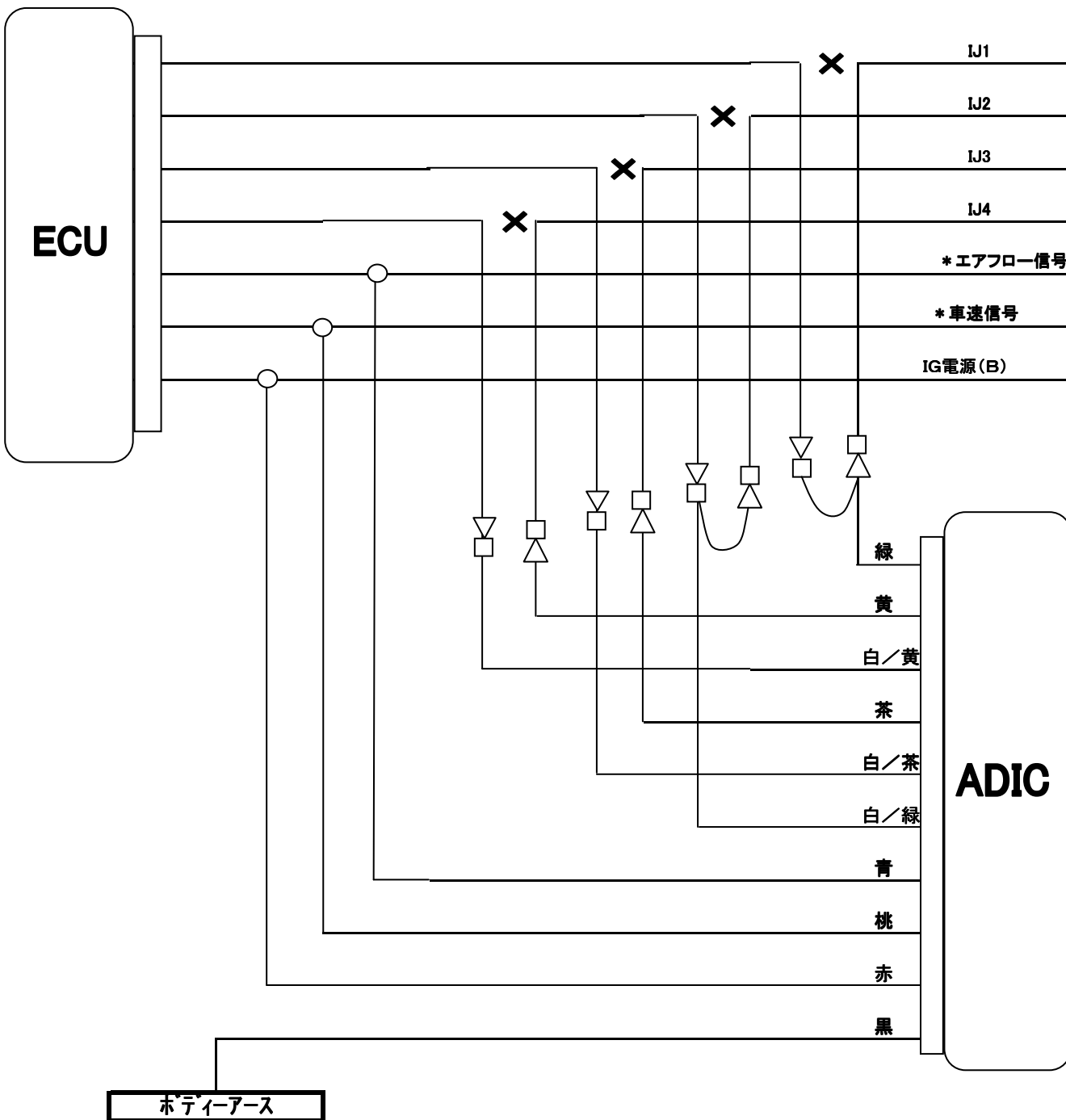
**注意！** 燃料噴射に関わる部分です。接続位置、接触には最善の注意をはらって作業をおこなして下さい。

◁ →オスキボシ

□ →メスキボシ

○ →スプライス

✕ →カット



①車両ECUのIG電源線(B)へADICの赤色線をスプライスにより接続します。

②ADICの黒色線をボディーアースして下さい。

③車両ECUのIJ1の線をカットしてECU側へADICの緑色線をオス・メスキボシにより接続します。

④車両ECUのIJ2の線をカットしてECU側へADICの白／緑色線をオス・メスキボシにより接続します。

⑤車両ECUのIJ3の線をカットしてECU側へADICの白／茶色線、車両側へADICの茶色線をオス・メスキボシにより接続します。

⑥車両ECUのIJ4の線をカットしてECU側へADICの白／黄色線、車両側へADICの黄色線をオス・メスキボシにより接続します。

⑦車両ECUのエアフロー信号線へADICの青線をスプライスにて接続します。

**\* 適合の<A>車のみ、<S>車は接続しません。(使用しない線はテーピングして下さい)**

⑧車両ECUの車速信号線へADICの桃線をスプライスにて接続します。

**\* 適合の<S>車のみ、<A>車は接続しません。(使用しない線はテーピングして下さい)**

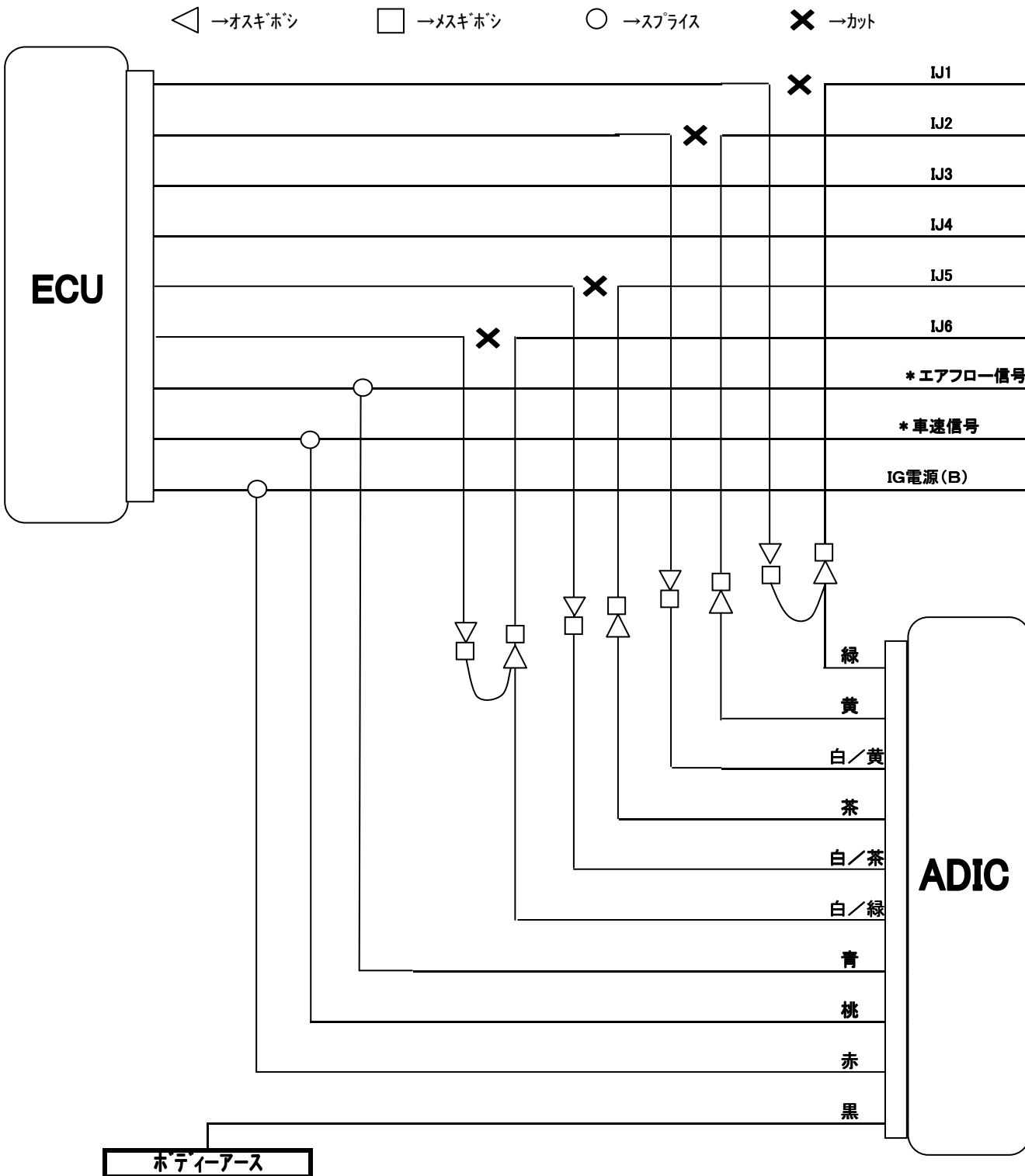
⑨運転の操作の妨げにならぬよう、配線をまとめて下さい。(車両カーペット下等)

**ADICの配線には約2A～程度の電流が流れます。配線の接触不良があるとエンジン不調をおこします。**

## 配線図(V6)

別冊の車両端子図を参考にADICより出ている9~10本の線をECUへ配線して下さい。

**注意！** 燃料噴射に関わる部分です。接続位置、接触には最善の注意をはらって作業をおこなして下さい。



- ①車両ECUのIG電源線(B)へADICの赤色線をスプライスにより接続します。
- ②ADICの黒色線をボディアースして下さい。
- ③車両ECUのIJ1の線をカットしてECU側へADICの緑色線をオス・メスギボシにより接続します。
- ④車両ECUのIJ2の線をカットしてECU側へADICの白/黄色線、車両側へADICの黄色線をオス・メスギボシにより接続します。
- ⑤車両ECUのIJ5の線をカットしてECU側へADICの白/茶色線、車両側へADICの茶色線をオス・メスギボシにより接続します。
- ⑥車両ECUのIJ6の線をカットしてECU側へADICの白/緑色線をオス・メスギボシにより接続します。
- ⑦車両ECUのエアフロー信号線へADICの青線をスプライスにて接続します。  
 \* 適合の<A>車のみ、<S>車は接続しません。(使用しない線はテーピングして下さい)
- ⑧車両ECUの車速信号線へADICの桃線をスプライスにて接続します。  
 \* 適合の<S>車のみ、<A>車は接続しません。(使用しない線はテーピングして下さい)
- ⑨運転の操作の妨げにならぬよう、配線をまとめて下さい。(車両カーペット下等)  
 ADICの配線には約2A~程度の電流が流れます。配線の接触不良があるとエンジン不調をおこします。